

いたばし地域づくり情報誌（第2号）

2019年1月発行

We カラフル いたばし

人が好き  まちが好き  いたばしが好き 
 ~18地域 18色の支え合いの地域づくり~

皆さんは、5年後、10年後、そして将来に向けて、自分たちのまちをどのような地域にしたいですか？ 今、全国の市区町村で、地域における支え合い活動を「地域の視点（住民を中心とした多様な主体）」で広げてみよう！という取り組みが始まっています。

地域のほっと
 ニュース①

総勢 120 名が「第 2 回 支え合い会議連絡会」に集結！



2018年11月28日（水）に区立グリーンホールで「第2回支え合い会議(第2層協議体)連絡会」を開催しました。

これは区内18地域で進む「支え合い会議」に関わる方々が集い、各地域の取り組みや今後の展望等を共有しながら、それぞれの今後の取り組みに活かしていくために開かれました。

各地域から計120名が参加し、熱気にあふれた会場で、各地域の創意工夫や苦労話、成功事例等を情報交換しながら、お互いに刺激し合う交流の場となりました。

各地域の活発な取り組みに驚きや感動の声が多く上がり、今後も18地域18色の支え合いの地域づくりから目が離せません。（中面に特集あり）

「We ♥ カラフル いたばし」は、板橋区内の各地域で進む「支え合い会議（第2層協議体）」の取り組みを区民の皆さんへお知らせするための情報誌です。

※支え合い会議（第2層協議体）の概要については裏面をご覧ください。

表紙に続いて
大特集！！

第 2 回 支 え 合 い 会 議 連 絡 会

第 1 部 各地域の支え合い会議の活動報告

2017 年度までに立ち上がった 13 地域それぞれの支え合い会議の「いいところ」や地域の特色に合わせた「多様な取組事例」を報告し合い、お互いの地域の情報を共有しました。2018 年度に立ち上がった 5 地域からは共有した内容を踏まえた感想をいただきました。

ここでは当日の様子とともに実際に共有された内容を一部紹介します。

① 各地域の支え合い会議の「いいところ」 ※一部抜粋

- ・地域内の各団体と協力体制が充実している
- ・話し合いやすい雰囲気の中で情報共有ができています
- ・団結力が強い



▲板橋地域



▲熊野地域

② 地域の特色に合わせた「多様な取組事例」 ※一部抜粋

- ・広報紙等により、支え合い会議を広く紹介している
- ・地域活動をまとめて紹介し、参加を呼び掛けている
- ・地域の様々な活動や団体と協働・協力して、居場所づくりなど高齢者を支える仕組みづくりを検討している



▲仲宿地域



▲仲町地域



▲富士見地域



▲大谷口地域



▲常盤台地域



▲清水地域



▲志村地域



▲中台地域



▲漣根地域



▲舟渡地域



▲前野地域



▲桜川地域



▲下赤塚地域



▲成増地域



▲徳丸地域



▲高島平地域

第 2 部 グループトーク（情報交換）

各支え合い会議の構成メンバーが 16 のテーブルに分かれ、情報交換・意見交換をしました。「他の地域に聞きたいこと」をメインテーマに、「第 1 部の活動報告を聞いて気になったこと」や「支え合い会議を運営していく上での課題や工夫」等について活発に話し合い、どのグループも大変盛り上がっていました。最後には各グループで話した内容を発表し、全体で共有しました。

【グループトークで話し合われたこと】 ※一部抜粋

- ① 地域に出て来られない人（特に男性）に対して支え合い会議として何ができるか
 - ・マップ等により地域活動を紹介する
 - ・アンケート等でニーズ調査を行う
 - ・何か役割を持ってもらう（支える側と支えられる側のギブ&テイクが大切）
 - ・積極的に声掛けしていく
- ② 地域に向けた支え合い会議の周知や説明が課題
 - ・活動を紹介するためにチラシや名刺等を作成する
- ③ それぞれの地域ならではの特徴や課題がある
 - ・話し合いながらその地域に合う形で少しずつ取り組んでいくことが大切



地域のほっと ニュース②

「支え合い会議徳丸」の取組みを 1000 名の区民に紹介！！

2018 年 11 月 8 日（木）に開催された「第 11 回いたばし社会福祉大会」において、昨年の「支え合い会議桜川」に続いて、今年「支え合い会議徳丸」の取組みが紹介されました。

徳丸地域の生活支援コーディネーターの皆さんから、これまでの徳丸地域における支え合い会議の取組内容や今後の展望について発表され、当日会場に訪れた 1000 名を超える来場者が熱心に聞いていました。



地域のほっと ニュース③

東京都内の自治体関係職員 140 名に板橋区の取組事例を発表！！

2018 年 11 月 16 日（金）に東京都の主催により都民ホールにおいて「地域福祉の推進に向けたシンポジウム」が開催され、板橋区における「支え合い会議（第 2 層協議体）」の取組みを先進好事例として発表しました。

地域の皆さんと一緒に取組みを進める板橋区のやり方や地域力の高さ、地域の可能性に、他の自治体から大きな反響があり、問合せも多数いただきました。



～ひとりの「ちょっと」が地域の力に～ みんなの力を結集する取り組み 支え合い会議（第2層協議体）とは？

○板橋区版 A I P (地域包括ケアシステム)の7つの重点事業のひとつ「生活支援体制整備事業」で実施している取り組みです。

○この会議は、いつになっても住み慣れた地域で元気に過ごすために必要な、①健康でいること、②ひきこもりにならないように人とつながっていること、③いざという時に助けられる人がいること等を地域のみなさんと話し合って実現していく場です。

めざすところ

高齢者の参加促進

支え合い活動の充実・強化・支援

その他支え合いの仕組みづくり

具体的な取り組み等

- 支え合い活動等の P R 紹介【情報発信】
- 活動者同士の連携強化【ネットワークづくり】
- 支え合い活動等の仲間づくりの支援【参加者や担い手探し】

- 地域への働きかけ・企画【体験・呼びかけ】
- 地域ニーズや困りごと等の把握・マッチング【調べる・つなげる】
- 関係機関の連携強化【ネットワークづくり】

進んでいます!! 各地域の支え合い会議の取り組み【情報発信】

○支え合い会議の活動の第一段階として、**地域活動等の情報共有に取り組む地域が多くあります。**

○また、共有した情報を地域の方々へ還元するために、内容や発信方法をできる範囲で考え、実践していきます。

○情報発信を通じて、住民の皆さんの参加のきっかけづくり、地域活動の発展、地域のニーズの掘り起こし等、**様々な活動につながるように、少しずつ話し合いを進めています。**



【①情報収集・共有】

地域活動を始め、地域の情報を共有します。集めた情報を地図に落とし込む、一覧表を作成する等して“見える化”します。



▲地域情報の共有
(常盤台)



▲情報共有の様子
(高島平)

▲情報共有の様子
(成増)

【②情報発信・P R 紹介】

集めた情報の活用方法について話し合い、地域マップやミニコミ誌等を作成し、地域のみなさんに向けて発信します。



▲情報発信の例
「あなたのまちの元気活動」
(常盤台)



▲情報発信の例
「元気になるマップ」
(成増)



▲情報発信の例
「高島平シニアガイド」
(高島平)

【編集発行・問合せ先】

社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会 経営企画推進課 地域包括ケアシステム推進係

〒173-0004 板橋区板橋二丁目6番6号情報処理センター内

電話/03-3964-0236 FAX/03-3964-0245 Eメール/sc@itabashishakyo.jp

※紙面に関する詳細については上記までお問合せください。

【共同編集・事業実施主体（事業担当部署）】

板橋区 健康生きがい部 おとしより保健福祉センター 地域ケア推進係

〒174-0063 板橋区前野町四丁目16番1号

電話/03-5970-1114

※本事業は、板橋区から板橋区社会福祉協議会への委託事業です。



アンケートによるニーズ把握、担い手づくり・交流を目的とした取り組みなど、「支え合い会議」の活動は多彩です。今後ご紹介いたしますので、ご期待ください。